

大成高校残そう

保護者ら訴え 看板作り



県教委が海南高校との統合案を示している大成

高校生徒の保護者らでつくる「大成高校を存続させる会」の会員らが12日、海南市内で同校存続を訴える看板を作った。同校周辺地域の商店や住宅などに設置し、高校存続を訴えていくという。

高さ150cmほどの木製看板12枚は、すべて手作り。この日、同校の生

徒らに海南市内で看板にメッセージを書く

徒、保護者ら約20人が同校のスクールカラーのえんじ色で「残そう大成高校」「地域で育む大成高校」などのメッセージを看板に書いた。

同校の統合については、これまでも育友会会員らが、周辺地域の中学校を訪ね、同校への入学を呼びかけるなど、高校存続に向けた運動をしてきたという。

存続させる会副会長も務める岡本芳樹・育友会長は「看板を作ること、地元が大成高校を残してほしいと思っている気持ちの強さをアピールしたい」と話している。